

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	医薬品とその作用 I		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	4校舎502
担 当 教 員	藤原 裕行(フジハラ ユウコウ)	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1.登録販売者試験合格 2.個々の配合成分の働きについて理解することができる(テキスト第3章)。						
《成績評価の方法と基準》						
①授業態度 ②前期試験 ③小テスト ④出席率 評価の重要なポイントの優先順位は、③→②①→④。復習していれば、②と③の結果は、おのずとついてくる。尚、出席時、返事をしない学生は欠席とする。試験は70点、出席点20点。平常点(挨拶・授業態度など)で10点。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
医薬品登録販売者試験対策テキスト 2021 発行所:(株)じほう 発行人:武田 正一郎 プリント						
《授業外における学習方法》						
配布プリントや登録販売者試験対策テキストで、第3章を毎日必ず振り返り、学習内容の理解を深めること。共に講義を作っていくましよう。やる気のある学生からの自主的な質問にはとことん付き合います。						
《履修に当たっての留意点》						
● 基本的な効能効果及びその特徴 ● 飲み方や飲み合わせ、年齢、基礎疾患等、効き目や安全性に影響を与える要因 ● 起こり得る副作用等を理解し、情報提供や相談対応に活用できるようになること。感染対策には学校の指示のもと十分に留意すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	学生1人1人が今の自分自身の実力を把握する。その為にも講義内容および第3章の概要について説明ができる	プリント	特になし	
		各コマにおける授業予定	講義の進め方についての説明と第3章とはどのようなものかを話します。実力テスト			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	かぜの諸症状、かぜ薬の働き、主な配合成分とその特徴、かぜの漢方処方製剤について説明できる	医薬品登録販売者試験対策テキスト 2024 プリント	テキストP100~108迄、事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	1.小テスト 2.かぜ薬と配合成分(解熱鎮痛成分・抗ヒスタミン成分・抗コリン成分・鎮静成分・制酸成分・抗炎症成分・カフェイン類)について学びます			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	サリチル酸系解熱鎮痛成分・他の解熱鎮痛成分・生薬成分・その他の成分(鎮静成分・制酸成分・筋弛緩作用・カフェイン類)に関する基本的な効能効果及びその特徴などを理解すること	医薬品登録販売者試験対策テキスト 2024 プリント	サリチル酸系解熱鎮痛成分・他の解熱鎮痛成分・漢方処方製剤について事前に調べておくことが望ましい	
		各コマにおける授業予定	1.小テスト 2.サリチル酸系解熱鎮痛成分・他の解熱鎮痛成分・漢方処方製剤、鎮静成分・制酸成分・筋弛緩作用・カフェイン類に関することを学びます			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	眠気を促す薬、眠気を防ぐ薬、鎮量薬その特徴などを理解することができる	医薬品登録販売者試験対策テキスト 2024 プリント	抗ヒスタミン成分・鎮静成分・鎮量薬・小児の生薬成分・漢方処方製剤について事前に調べておくことが望ましい	
		各コマにおける授業予定	1.小テスト 2.抗ヒスタミン成分・鎮静成分・鎮量薬・漢方処方製剤について、主な副作用に関することを学びます			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の生薬成分、鎮咳去痰薬に関する基本的な効能効果及びその特徴などを理解することができる	医薬品登録販売者試験対策テキスト 2024 プリント	疳の虫、鎮咳去痰薬に関わる部位に作用する薬について事前に調べておくことが望ましい	
		各コマにおける授業予定	1.小テスト 2.小児の生薬製剤、鎮咳去痰薬に関することを学びます			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 口腔咽喉薬、胃の薬・に関する基本的な効能効果及びその特徴などを理解することができる	医薬品登録販売者試験対策テキスト 2024 プリント	口腔咽喉薬、制酸剤・胃粘膜保護剤について事前に調べてくれることが望ましい
	各コマにおける授業予定	1.小テスト 2.うがい薬・制酸薬・健胃薬・消化薬に関することを学びます		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 腸の薬、鎮痛鎮痙薬、その他の消化器用薬(浣腸薬・駆虫薬)の効能効果及びその特徴などを理解することができる	医薬品登録販売者試験対策テキスト 2024 プリント	瀉下薬・その他の消化器用薬について事前に調べてくれることが望ましい
	各コマにおける授業予定	整腸薬・止瀉薬・瀉下薬(P149)・鎮痛鎮痙薬(P159)・浣腸薬・駆虫薬の特徴とそれぞれの成分の違いを学びます		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 強心薬、高コレステロール改善薬、貧血用薬、その他の循環器用薬の効能効果及びその特徴などと共に受診勧奨も理解することができる	医薬品登録販売者試験対策テキスト 2024 プリント	強心薬・高コレステロール改善薬・貧血用薬について事前に調べてくれることが望ましい
	各コマにおける授業予定	1.小テスト 2.強心薬(P166)・高コレステロール改善薬(P170)、貧血用薬(P173)、その他の循環器用薬(P176)の特徴などを学びます		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 痔の薬、その他の泌尿器用薬、婦人薬に関する基本的な効能効果及びその特徴などを理解することができる	医薬品登録販売者試験対策テキスト 2024 プリント	痔の薬、泌尿器用薬に用いる薬について事前に調べてくれることが望ましい
	各コマにおける授業予定	痔の薬(P178外用薬・内用薬)・その他の泌尿器用薬(P184)・ウワウルシ等の生薬成分と主な副作用・女性ホルモン製剤(P187)生薬成分・漢方処方製剤効能効果及びその特徴などに関することを学びます		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 内服アレルギー用薬(鼻炎用内服薬を含む)、鼻に用いる薬に関する基本的な効能効果及びその特徴などを理解することができる	医薬品登録販売者試験対策テキスト 2024 プリント	抗アレルギー剤、抗ヒスタミン成分、アドレナリン作動成分について事前に調べてくれることが望ましい
	各コマにおける授業予定	1.小テスト 2.(P193)抗ヒスタミン成分・アドレナリン作動成分・抗コリン成分・抗アレルギー薬・蓄膿症(P199)・局所麻酔薬(P200)それぞれの配合成分に関することを学びます		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 眼科用薬に関する基本的な効能効果及びその特徴などを理解することができる	医薬品登録販売者試験対策テキスト 2024 プリント	特になし
	各コマにおける授業予定	1.小テスト 2.(P204)目の調節機能を改善する成分・主な副作用への理解とアドバイス・受診勧奨に関することを学びます		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 皮膚に用いる薬(殺菌消毒成分含む)、歯痛・歯槽膿漏薬のそれぞれの特徴を理解することができる	医薬品登録販売者試験対策テキスト 2024 プリント	皮膚に用いる薬、歯槽膿漏薬について事前に調べてくれることが望ましい
	各コマにおける授業予定	皮膚に用いる薬(P209)・歯痛、歯槽膿漏薬(P224)の選別の仕方を学びます		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 第3章 復習(かぜ～歯槽膿漏薬まで)自分自身の習熟度を理解できる	医薬品登録販売者試験対策テキスト 2024 プリント	今迄の復習
	各コマにおける授業予定	1. 小テスト(60問) 2. 解答・説明		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 第3章 復習(かぜ～歯槽膿漏薬まで)自分自身の習熟度を理解できる	医薬品登録販売者試験対策テキスト 2024 プリント	今迄の復習
	各コマにおける授業予定	1. 小テスト(60問) 2. 解答・説明		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 これまでの講義内容について説明できる	医薬品登録販売者試験対策テキスト 2024 プリント	今迄の復習
	各コマにおける授業予定	これまでの総復習		